

第2回公開ワーク・ライフ・バランスカンファレンス—中小企業におけるWLB—

講演者プロフィール

渥美 由喜(あつみ なおき)氏

株式会社東レ経営研究所 ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長

1992年に東京大学法学部卒業。2009年より現職。公職としては、内閣府のワーク・ライフ・バランス官民連絡会議委員等を歴任。これまでに海外10数ヶ国を含む、国内外の先進企業600社を訪問ヒアリングし、3000社の財務データを分析してきた。

プライベートでは一昨年、育児休業を取得し、3歳の長男の育児に奮闘中。15年前から地元の公園で継続してきた「こども会」のボランティアをライフワークにしている。座右の銘は、「市民の三面性＝家庭人、地域人、職業人」。

芹川 哲朗(せりかわ てつろう)氏

株式会社イノス 代表取締役社長

1977年(株) 経調に入社。1985年株式会社イノスの設立に参画し、取締役就任。

1990年 代表取締役社長に就任。

1992年 育児・介護を目的とした短時間・短日勤務制度を導入。

2000年 在宅勤務制度を導入。

2002年 男女雇用機会均等推進企業として熊本労働局長賞を受賞。

2003～2005年 厚生労働省委託事業「多様就業型ワークシェアリング モデル事業(情報サービス業部門)」(事務局 情報処理サービス産業協会)に参画。

2006年 短時間・短日勤務制度の改定(育児・介護のほか、自己研鑽、身体上の事由の社員に対しても制度の適用を認める)。

※内閣府発行 共同参画 平成21年3月号に、取組事例が掲載されました。

記事はこちら→<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/eco/gem/documents/kyoudousankaku.pdf>

上原 真弓(うえはら まゆみ)氏

株式会社インデックス 労務部門チームリーダー

社会保険労務士

2004年株式会社インデックスに入社。労務部門に配属され、主にグループ企業の社会保険の各種手続きや給与計算等を行いながら、労務管理・労務相談の業務に従事。育児・介護休業手続等の実務を行う中で、中小企業で不足していると感じた両立支援に関する理解と情報についての啓発活動に力を注ぐ。行政の支援制度を利用しながら、工夫を凝らした無理のない両立支援策の構築に着手した結果、平成20年度「東京都ワークライフバランス認定企業(育児・介護休業制度充実部門)」に選出される。